

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第5・6号

神子上恵生	インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション----- (1)
原田和宗	<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(V) ----- (19)
岡本健資	クナーラ王子の物語 —Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa 試訳(2)— ----- (98)
櫻井良彦	説一切有部における衆同分の分類----- (117)
Kiyoyuki KOIKE (小池清廉)	Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint —On <i>Nikāya</i> , <i>Vinaya Piṭaka</i> and the Chinese Canon— ----- (144)
Satoru NORIYAMA (乗山悟)	On the <i>Maṅgala</i> verse of Hetubinduṭīkā ----- (191)
Erich FRAUWALLNER 那須円照 訳	Die Erlösungslehre des Hīnayāna (小乗の解脱論) ----- (201)

2001 / 2002 年

インド哲学研究会

執筆者紹介

神子上恵生 (ミコガミ エショウ)	龍谷大学文学部教授
原田和宗 (ハラダ ワソウ)	龍谷大学文学部非常勤講師
岡本健資 (オカモト ケンスケ)	龍谷大学文学部非常勤講師
櫻井良彦 (サクライ ヨシヒコ)	龍谷大学文学部非常勤講師
小池清廉 (コイケ キョユキ)	龍谷大学非常勤講師 龍谷大学大学院文学研究科博士課程仏教学専攻
乗山悟 (ノリヤマ サトル)	龍谷大学文学部非常勤講師
那須円照 (ナス エンショウ)	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員

編集後記

本号 2001/2002 年度号は、編集者神子上の責任で当初の予定より遅れ 2002 年度発刊となった。本号所載の櫻井良彦氏の論文は 2001 年 8 月に提出されたものであることを櫻井氏の希望によりここに記す。次号は 2003 年度に本学文学部教授であった芳村修基博士の追悼号として刊行する予定である。最後に、本号発刊にあたり龍谷学会の研究雑誌への経済的援助を受けたことへの感謝をここに記す。

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は、実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号・冊数を編集者の神子上恵生までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてご案内いたします。費用は各号いずれも 1310 円(送料 310 円込)となっております。

<バックナンバーのご案内>

第 1 号 (品切れ) 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の 23 章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教徒のジャイナ教批判 (2)— 藤田祥道／『五百頌般若経』について—試訳 (承前) 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論 (上) 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(I)

第2号 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴經論』第一偈の一考察— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの極微論(2)—極微が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(1)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の23章外界対象の考察—

第3号 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴經論』第13章「修行章」—サンスクリットテキストと和訳— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(III) 乗山悟／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭīkā* 研究(1)(pp. 1-5)—

第4号 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭīkā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子の理論 岡本健資／クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／アビダルマ研究ノート

インド学チベット学研究 第5・6号

2003年3月発行

編集者 神子上恵生

発行者

インド哲学研究会
(代表者 神子上恵生)

Association for the Study of
Indian Philosophy

〒600-8128
京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
芳村研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST
STUDIES RYUKOKU UNIVERSITY
SHICHIJO OMIYA KYOTO 600-8128
JAPAN

e-mail: mikogami@let.ryukoku.ac.jp

郵便振替 00900-6-309785

電話 (075) 343-3311 (大代表)

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

NO. 5·6, 2001 / 2002

CONTENTS

Esho MIKOGAMI	Communications with Buddhas in Yogācāra Buddhism in India-----	(1)
Waso HARADA	Some questions on the concept of “Der „einschichtiger” Erkenntnis-strom der Sautrāntikas”(V)-----	(19)
Kensuke OKAMOTO	A Japanese Translation of the Tibetan Text of <i>Kunālavādāna</i> (2)-----	(98)
Yoshihiko SAKURAI	The Classification of Nikāyasabhāga in Sarvāstivādins -----	(117)
Kiyoyuki KOIKE	Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint —On <i>Nikāya</i> , <i>Vinaya Piṭaka</i> and the Chinese Canon — -----	(144)
Satoru NORIYAMA	On the <i>Maṅgala</i> verse of Hetubinduṭīkā -----	(191)
Erich FRAUWALLNER Japanese translation by Ensho NASU	Die Erlösungslehre des Hīnayāna -----	(201)

Editor

E s h o M i k o g a m i

Association for the Study of Indian Philosophy
Kyoto, Japan